

## 精神科病棟誤嚥性肺炎予防に関する研究

**研究題目：精神科病棟における誤嚥性肺炎予防の取り組み～  
精神科用誤嚥性肺炎予防チェックシート使用後の看護ケアの実際**

### 1. 研究の対象

2020年6月1日から2021年6月30日までの期間において、自治医科大学附属病院精神科病棟に入院し、精神科用誤嚥性肺炎予防チェックシートを使用し、評価した結果、誤嚥性肺炎になるリスクが高かった患者さんを対象とします。目安としては、誤嚥性肺炎予防のための看護計画の説明をされた方となります。

### 2. 研究目的・方法

当院精神科病棟では、精神科用誤嚥性肺炎予防チェックシートを独自に作成し2018年より導入しています。これは、精神科患者さんに特化した項目（精神科の治療薬の服用状況や、セルフケアの状況や、精神状態など）を独自に追加したものとなっています。このチェックシートは、誤嚥性肺炎のリスクが高い状態を判断しています。精神科用誤嚥性肺炎予防チェックシートの導入前は、年間7～8件あった誤嚥性肺炎が、導入して看護した後は、1～2件と減少した結果が出ました。その結果につながる看護実践を明らかにする研究を行います。誤嚥性肺炎のリスクを低下させるために、具体的にどのような看護内容が有効であったのか看護記録からふりかえります。

研究の方法は、対象患者さんの電子カルテの中の診療録・看護記録・精神科用誤嚥性肺炎予防チェックシートから研究に必要な情報をいただきます。いただいた情報から、誤嚥性肺炎予防に有効な看護ケアを調べます。

研究期間は、2022年4月4日から2022年11月30日までです

### 3. 研究に用いる試料・情報の種類

患者さんの記録からいただく情報は記の通りです。

【診療録】年齢、性別、病名、飲んでいた薬、食事の内容、誤嚥性肺炎予防のために耳鼻科・口腔外科・院内嚥下チーム・リハビリテーションへ診察を依頼した履歴と依頼内容

【看護記録】日常生活動作、摂食機能の問題、歯の問題、看護計画

【精神科用誤嚥性肺炎予防チェックシート】精神科用誤嚥性肺炎予防チェックシート内の  
チェックした項目

この研究を実施するに当たって、あなたの記録からいただいた情報については、特定の個人を識別することが出来ないように氏名や、病院ID番号が削除され、代わりにあなたとは無関係の符号をつける匿名化を行います。あなたとこの符号との結び付ける対応表は研究責任者が自治医科大学附属病院5階西病棟において施錠できる保管し厳重に管理致します。

#### **4. お問い合わせ先**

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。  
ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、  
研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出下さい。

また、情報が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としませんので、下記の連絡先までお申出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません

**研究責任者：** 自治医科大学附属病院 5階西病棟 看護師 対比地裕子

**苦情の宛先：** 自治医科大学臨床研究支援センター臨床研究企画管理部管理部門

電話:0285-58-8933